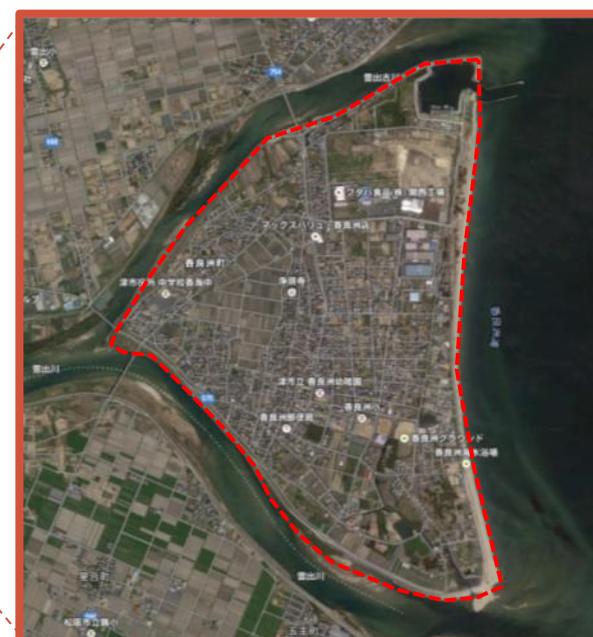


津市香良洲地区 地区防災計画の作成に向けた取組み

平成27年3月14日
津市香良洲地区

地区の概要・特性

- 三重県津市沿岸部の最南端に位置
- 雲出川と雲出古川、伊勢湾に囲まれた三角州(3.9km²)
- 地区内の大半が海拔2m未満の平坦地
- 人口／世帯数 4,980人／1,996世帯 (H26.5.1現在)



地区の状況

(仮)香良洲高台
防災公園
※整備中



香海中学校
(避難所)(ビル)

まつぼっくり作業所
(避難所)(ビル)

香良洲庁舎
(ビル)

香良洲公民館
(避難所)

サンデルタ香良洲
(避難所)

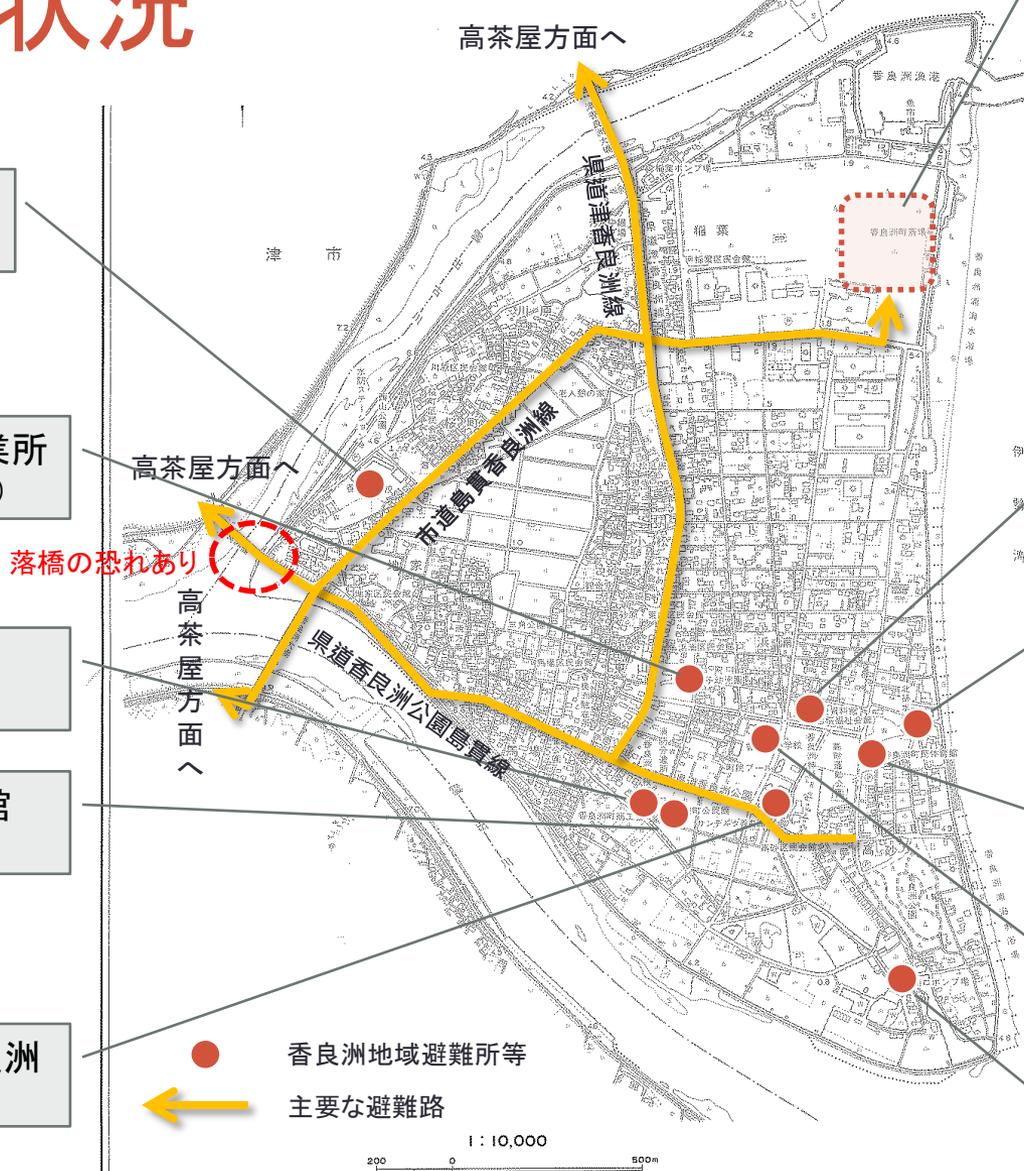
香良洲歴史資料館
(避難所)(ビル)

掘割ポンプ場
(ビル)

香良洲体育館
(避難所)

香良洲小学校
(避難所)(ビル)

川口ポンプ場
(ビル)



避難所は地震時利用／ビルは津波避難ビルを指す

計画作成のプロセス

●地元住民(主要メンバー)との意見交換 12/16

- 学識者(三重大学准教授・川口先生、神戸大学名誉教授・室崎先生)のアドバイス等を踏まえ、地元の意向把握や進め方について確認

⇒これまで暗黙知として運用されていた

取組の明文化や課題解決に向けた
考え方の整理



●地元住民(主要メンバー)と行政担当者と意見交換 12/25

- 懇談会開催前の事前勉強として、地元の既往の取組の整理やそれに基づく意見交換を実施

● 第1回懇談会の実施 1/12

- ・ 川口先生のミニ講演
- ・ 平時の備えや災害時のルール、年間の防災の取組等を切り口に意見交換を実施

● 第2回懇談会の実施 1/30

● 第3回懇談会の実施 2/9

- ・ 地区防災計画(骨子案)について意見交換を実施

● 第4回懇談会の実施 2/24 ※主要メンバーのみ参加

- ・ 地区防災計画(素案)について確認

(3/14の国連防災世界会議の発表に向けて現状の到達点の確認と内容確認)

● 防災講演会の実施 3/1

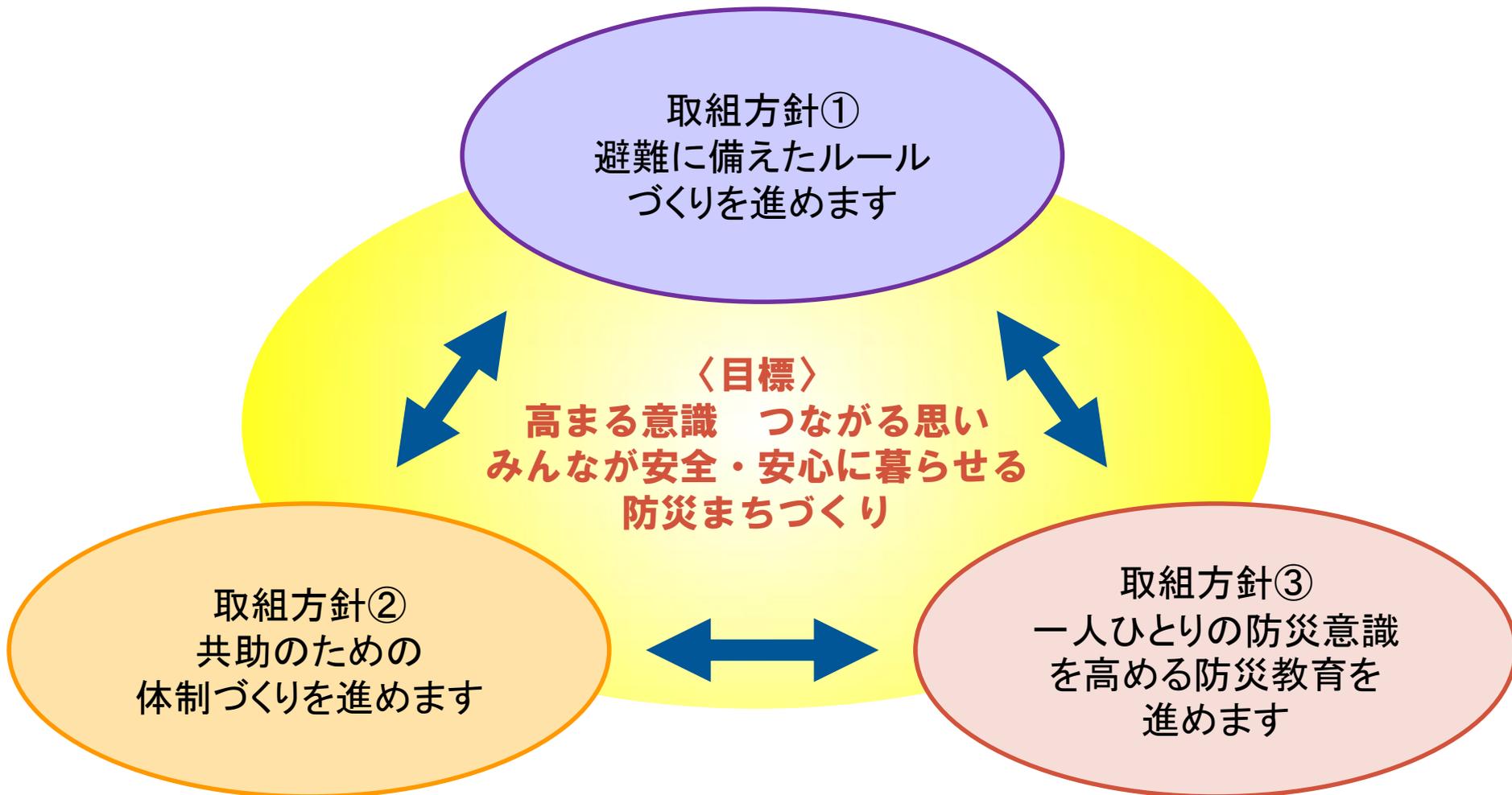
- ・ 香良洲地区の防災意識を高めるための講演会(三重大学准教授・川口先生)及び地区防災計画作成に向けた取組状況の報告を実施



香良洲地区で重視すること

- ①自治会と自主防災会の重複解消
- ②地域の活動団体の役割分担
- ③地域住民の防災意識の向上
- ④避難時の行動計画・ルールの共有化
- ⑤要援護者対策

地区の目標と防災まちづくりの取組方針



① 避難に備えたルールづくり

- 避難場所の確認
- 避難ルートの確認
- 適切な避難行動がとれるよう自己判断能力の向上
- 要援護者対策 など



② 共助のための体制づくり

- 組織の自立化
- 津市民防災大学卒業生など防災知識のある人材の活用
- 年間スケジュールの確立

③ 一人ひとりの防災意識を高める防災教育の推進

- 住民の防災意識の向上
- 保育園、幼稚園、小・中学校での継続的な防災教育の実施

今後の予定

①地区防災計画(案)のさらなる充実

- 今年度の到達点としては地区防災計画(案)であり、今後は、自主防災会の自立に向けた工程の確認、避難に関する行動計画・ルールの実、防災教育の具体化などを進め、さらなる充実を図る。

②風水害対策の検討

- 今年度から取り組んでいる雲出川の風水害検討に伴い、その内容を付加させることも検討していく必要がある。
※H28年度以降

③防災会議への提案

- 地域防災会議への提案⇒地域防災計画への位置づけ

参考：検討にあたって問題・課題と感じた点

①地区の合意形成をどのように図るか

- ・現段階では、地区の会長、副会長を中心としたメンバーで議論しているが、そこからどのように地区におろしていくか

⇒会長、副会長だけで議論しても地区の合意形成を図ったことにならない。

②地区と行政の役割分担をどう図るか

- ・公助に頼らず、自助、共助の必要性は理解しているが、どこで線引きを行うか

⇒自助、共助でどこまでやるのか（例えば、要援護者対策など）について合意形成を行うのはなかなか難しい。